

令和 2 年度

鹿児島県スポーツキャンプ・合宿
状 況 調 査 結 果



インスタグラムで情報を発信中!!



DONDON.SPORTS.KAGOSHIMA

どんどん 
鹿児島島

令和 3 年 8 月



鹿児島県観光・文化スポーツ部スポーツ振興課

目 次

1 調査結果（集計）	1
(1) 総括	1
(2) 団体別内訳	3
(3) 発地別内訳	4
(4) 交通手段別内訳	6
(5) 種目別内訳	7
(6) 月別内訳	8
2 県内の実施状況	9
(1) 地域別内訳	9
ア 総括	9
(参考) 団体別・種目別・市町村別延べ人数TOP3	10
(2) 市町村別内訳	11
ア 総括	11
イ 詳細	12
[資料1] 春季プロキャンプの実施状況	13
[資料2] 各市町村の取組状況	14

- 本調査は、市町村を通じて宿泊施設等の協力のもと実施したものであり、県内における全てのスポーツキャンプ・合宿状況を把握しているものではありません。
- 各表中にある構成比は、端数処理のため、合計が100.0%とならない場合があります。
- 集計結果の団体別区分「その他」（3ページ）とは、「中学生以下の団体」、「実業団以外の社会人等の団体」等。
- 交通手段（6ページ）は、鹿児島に入る際に使用した交通手段。
- 地域（9ページ）は、振興局・支庁単位で区分。

1 調査結果（集計）

（1）総括

令和2年度（R2.4～R3.3）に、本県でスポーツキャンプ・合宿を行った県外からの延べ人数は45,945人で前年度比71.4%減少（114,627人減）、実人数は7,257人で同80.4%減少（29,790人減）、団体数は383団体で同82.3%減少（1,785団体減）した。平成11年度の調査開始以降、延べ人数と実人数は過去3番目、団体数は過去5番目に低い結果となった。

これまで、県、市町村及び宿泊事業者など官民一体となって国内外における誘致活動に積極的に取り組んできたところであるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ大会・イベント、スポーツキャンプ・合宿の中止が相次いだほか、感染拡大防止対策のため、県外での誘致活動を大幅に自粛したことなど、スポーツキャンプ・合宿の誘致においては大変厳しい環境であった。

また、令和元年度は、本県5市で「南部九州総体2019(※)」が開催され、本県で実施される競技種目を中心に大会前の事前合宿が行われたことにより、「高校」の区分が大幅に増加した。それに伴い、令和2年度は「高校（延べ7,471人）」が大幅に減少することとなった。

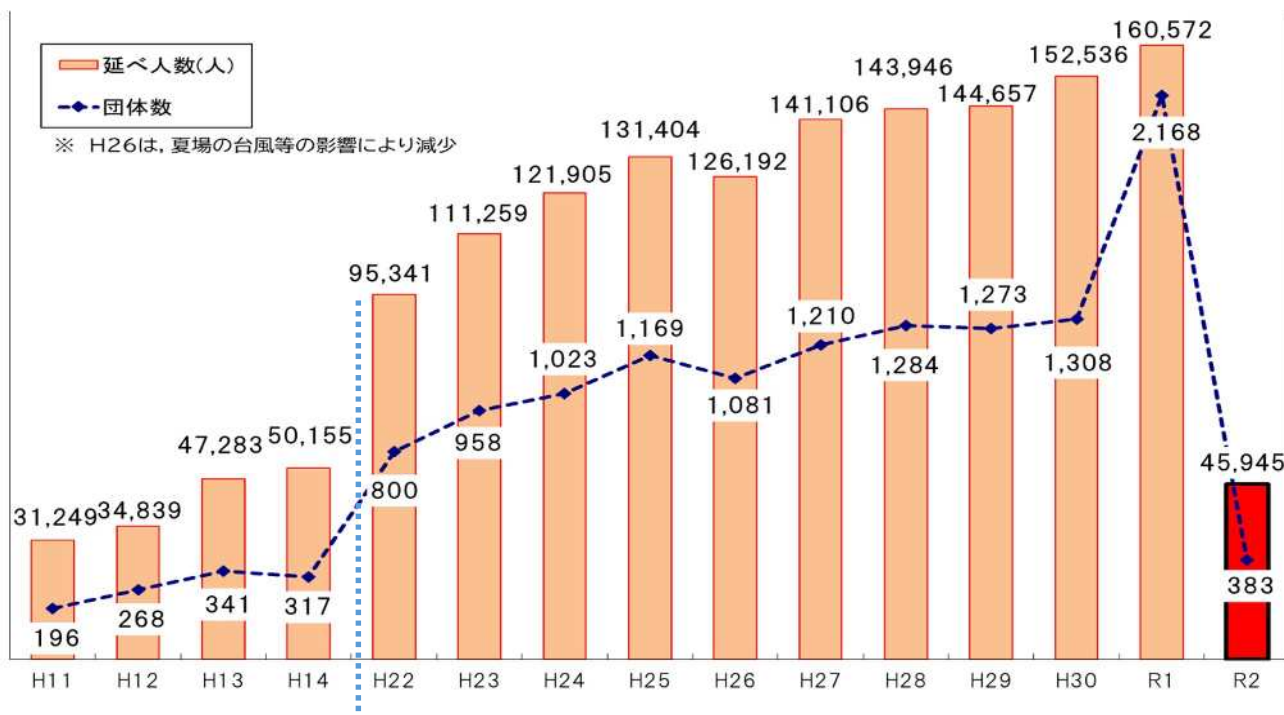
※ 南部九州総体2019

- ・期間 令和元年7月24日（水）～8月20日（火）
- ・実施競技 体操、卓球、柔道、バスケットボール、フェンシング、カヌー
- ・開催地 鹿児島市、薩摩川内市、いちき串木野市、霧島市、伊佐市

延べ人数、実人数、団体数の対前年度比較

	令和2年度	令和元年度	対前年度	
			増減数	増減率
延べ人数（人）	45,945	160,572	△ 114,627	△ 71.4%
実人数（人）	7,257	37,047	△ 29,790	△ 80.4%
団体数（団体）	383	2,168	△ 1,785	△ 82.3%

年度別推移



	H11	H12	H13	H14	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
延べ人数(人)	31,249	34,839	47,283	50,155	95,341	111,259	121,905	131,404	126,192	141,106	143,946	144,657	152,536	160,572	45,945
対前年比	—	1.1%	35.7%	6.1%	△0.1%	16.7%	9.6%	7.8%	△4.0%	11.8%	2.0%	0.5%	5.4%	5.3%	△71.4%
対前年増減数	—	3,590	12,444	2,872	△49	15,918	10,646	9,499	△ 5,212	14,914	2,840	711	7,879	8,036	△ 114,627
実人数(人)	4,292	5,595	7,360	7,651	20,120	24,999	25,659	28,177	26,695	31,464	32,383	32,877	33,446	37,047	7,257
団体数	196	268	341	317	800	958	1,023	1,169	1,081	1,210	1,284	1,273	1,308	2,168	383

(2) 団体別内訳

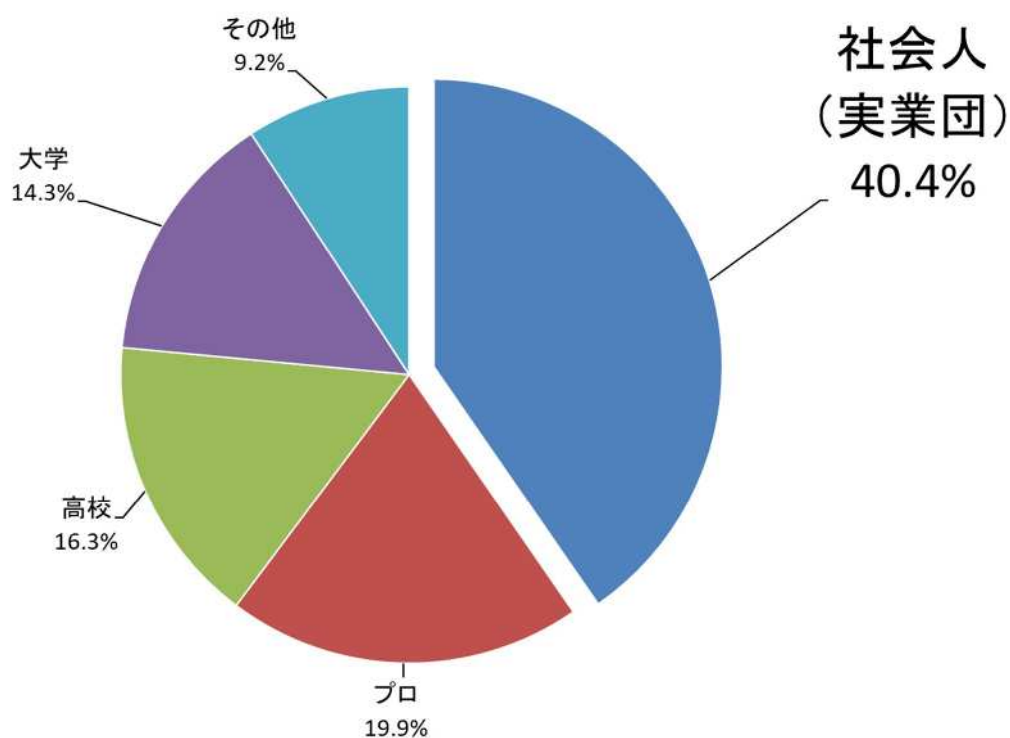
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、プロを除く全ての団体において大幅に減少。
- 延べ人数と団体数は「社会人（実業団）」が、実人数は「高校」が最多。
- 上位は、「社会人（実業団）」、「プロ」、「高校」が占め、延べ人数で見ると全体の76.6%
- 令和元年度は、「高校」「大学」の学生主体（65.8%）の実績構成であったが、令和2年度は、「社会人（実業団）」「プロ」主体（60.3%）の実績構成となった。
- 特に「高校」は、令和元年度に「南部九州総体2019」が開催されたことに伴い、大会前の事前合宿により実績が増加していたこともあり、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、減少要因となっている。

団体別内訳

(単位：人、%、団体)

順位 (延べ人数) (昨年)	延べ人数 A				実人数 B				団体数 C					
	(昨年)		構成比 (昨年)	対前年度		(昨年)		平均滞在日数 A÷B (昨年)		(昨年)		平均人数 B÷C (昨年)		
				増減	増減率									
計	45,945	(160,572)	100.0	(100.0)	△ 114,627	△ 71.4	7,257	(37,047)	6.3	(4.3)	383	(2,168)	18.9	(17.1)
1 (3) 社会人（実業団）	18,544	(29,089)	40.4	(18.1)	△ 10,545	△ 36.3	1,553	(4,248)	11.9	(6.8)	149	(231)	10.4	(18.4)
2 (5) プロ	9,131	(9,412)	19.9	(5.9)	△ 281	△ 3.0	878	(952)	10.4	(9.9)	41	(34)	21.4	(28.0)
3 (1) 高校	7,471	(72,695)	16.3	(45.3)	△ 65,224	△ 89.7	2,347	(18,939)	3.2	(3.8)	94	(1,404)	25.0	(13.5)
4 (2) 大学	6,563	(32,897)	14.3	(20.5)	△ 26,334	△ 80.0	999	(7,053)	6.6	(4.7)	48	(220)	20.8	(32.1)
5 (4) その他	4,236	(16,479)	9.2	(10.3)	△ 12,243	△ 74.3	1,480	(5,855)	2.9	(2.8)	51	(279)	29.0	(21.0)

区分別構成比（延べ人数）



(3) 発地別内訳

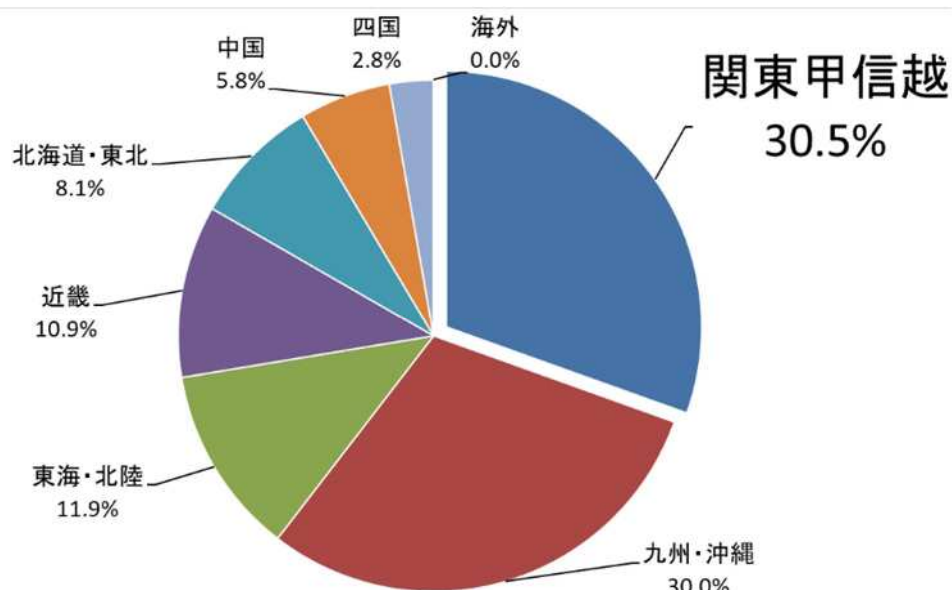
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全ての発地において大幅に減少。
- 延べ人数は「関東甲信越」が、実人数と団体数は「九州・沖縄」が最多。
- 上位は、「関東甲信越」、「九州・沖縄」、「東海・北陸」が占め、延べ人数で見ると全体の72.4%。
- 平均滞在日数は、「関東甲信越」と「東海・北陸」が10日間を超えて長く、平均人数は「九州・沖縄」が20人を超えて最も多かった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの団体の合宿は行われなかった。

発地別内訳

(単位：人、%、団体)

順位 (延べ人数) (昨年)	延べ人数 A		対前年度		実人数 B		平均滞在日数 A÷B		団体数 C		平均人数 B÷C			
	(昨年)		(昨年)		(昨年)		(昨年)		(昨年)		(昨年)			
	延べ人数	構成比	増減	増減率	実人数	平均滞在日数	団体数	平均人数						
計	45,945	(160,572)	100.0	(100.0)	△ 114,627	△ 71.4	7,257	(37,047)	6.3	(4.3)	383	(2,168)	18.9	(17.1)
1 (2) ↗ 関東甲信越	13,997	(40,740)	30.5	(25.4)	△ 26,743	△ 65.6	1,235	(7,278)	11.3	(5.6)	92	(418)	13.4	(17.4)
2 (1) ↘ 九州・沖縄	13,782	(51,095)	30.0	(31.8)	△ 37,313	△ 73.0	3,803	(16,492)	3.6	(3.1)	146	(823)	26.0	(20.0)
3 (4) ↗ 東海・北陸	5,481	(16,119)	11.9	(10.0)	△ 10,638	△ 66.0	539	(2,748)	10.2	(5.9)	38	(206)	14.2	(13.3)
4 (3) ↘ 近畿	5,011	(24,827)	10.9	(15.5)	△ 19,816	△ 79.8	729	(5,813)	6.9	(4.3)	40	(283)	18.2	(20.5)
5 (5) → 北海道・東北	3,742	(11,409)	8.1	(7.1)	△ 7,667	△ 67.2	380	(1,858)	9.8	(6.1)	25	(185)	15.2	(10.0)
6 (6) → 中国	2,652	(6,947)	5.8	(4.3)	△ 4,295	△ 61.8	416	(1,503)	6.4	(4.6)	23	(126)	18.1	(11.9)
7 (8) ↗ 四国	1,280	(4,061)	2.8	(2.5)	△ 2,781	△ 68.5	155	(877)	8.3	(4.6)	19	(94)	8.2	(9.3)
8 (7) ↘ 海外	0	(5,374)	0.0	(3.3)	△ 5,374	皆減	0	(478)	0.0	(11.2)	0	(33)	0.0	(14.5)

発地別構成比 (延べ人数)



海外発内訳

(単位：人、%、団体)

順位 (延べ人数) (昨年)	延べ人数 A					実人数 B			団体数 C	
	(昨年)	構成比 (昨年)	対前年度		(昨年)	平均滞在日数 A÷B (昨年)	(昨年)	平均人数 B÷C (昨年)		
			増減	増減率						
計	0 (5,374)	- (100.0)	△ 5,374	皆減	0 (478)	- (11.2)	0 (33)	- (14.5)		
(1) - 韓国	0 (3,099)	- (57.7)	△ 3,099	皆減	0 (139)	- (22.3)	0 (9)	- (15.4)		
(2) - 南アフリカ	0 (357)	- (6.6)	△ 357	皆減	0 (51)	- (7.0)	0 (1)	- (51.0)		
(3) - 中国	0 (354)	- (6.6)	△ 354	皆減	0 (25)	- (14.2)	0 (6)	- (4.2)		
(4) - 台湾	0 (282)	- (5.2)	△ 282	皆減	0 (61)	- (4.6)	0 (3)	- (20.3)		
(5) - ニュージーランド	0 (231)	- (4.3)	△ 231	皆減	0 (33)	- (7.0)	0 (1)	- (33.0)		
(6) - タイ	0 (168)	- (3.1)	△ 168	皆減	0 (21)	- (8.0)	0 (1)	- (21.0)		
(7) - オーストラリア	0 (160)	- (3.0)	△ 160	皆減	0 (20)	- (8.0)	0 (1)	- (20.0)		
(8) - アルゼンチン	0 (126)	- (2.3)	△ 126	皆減	0 (21)	- (6.0)	0 (1)	- (21.0)		
その他	0 (597)	- (11.1)	△ 597	皆減	0 (107)	- (5.6)	0 (10)	- (10.7)		

(参考) 発地ごとの種目別延べ人数TOP3

項目 地域	1位			2位			3位			4位			5位		
	種目	延べ人数	団体数	種目	延べ人数	団体数	種目	延べ人数	団体数	種目	延べ人数	団体数	種目	延べ人数	団体数
北海道・東北	野球	2,044	9	サッカー	959	3	カヌー	354	6	陸上競技	252	5	バレーボール	85	1
関東甲信越	陸上競技	7,862	68	サッカー	3,095	6	野球	861	3	ラグビー	690	2	ソフトボール	343	2
東海・北陸	陸上競技	2,620	18	サッカー	1,548	3	カヌー	567	11	野球	525	1	ゴルフ	92	2
近畿	陸上競技	1,755	14	サッカー	1,086	9	バレーボール	802	4	野球	643	2	ソフトボール	313	1
中国	サッカー	1,171	7	陸上競技	1,073	8	バレーボール	192	3	野球	156	2	テニス・ソフトテニス	40	1
四国	カヌー	571	11	陸上競技	357	4	サッカー	244	3	バレーボール	108	1	-	-	-
九州・沖縄	サッカー	4,580	55	野球	3,553	20	バレーボール	2,277	24	陸上競技	1,567	17	バスケットボール	911	13

(4) 交通手段別内訳

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全ての交通手段において大幅に減少。
- 実人数は「バス」が、団体数と延べ人数は「航空機」が最多。
- 上位は「バス」と「航空機」が占め、実人数全体で見ると 86.8%。

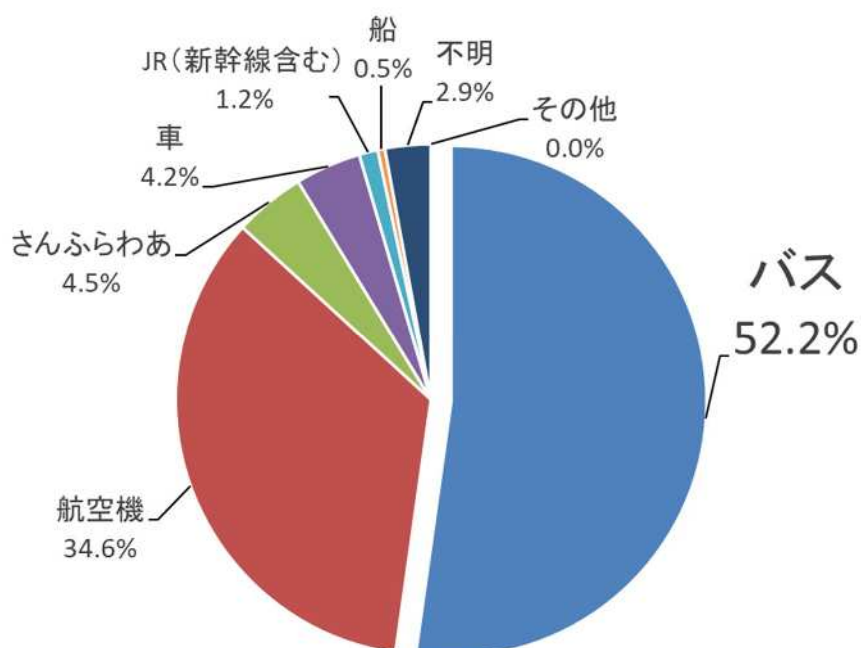
交通手段別内訳

(単位：人、%、団体)

順位 (実人数) (昨年)	実人数 (昨年)		構成比 (昨年)		対前年度		団体数 (昨年)		延べ人数 (昨年)	
					増減	増減率				
	計	7,257	(37,047)	100.0	(100.0)	△ 29,790	△ 80.4	383	(2,168)	45,945
1 (1) → バス	3,790	(13,192)	52.2	(35.6)	△ 9,402	△ 71.3	140	(563)	13,560	(40,837)
2 (2) → 航空機	2,508	(7,393)	34.6	(20.0)	△ 4,885	△ 66.1	177	(321)	25,972	(51,652)
3 (3) → さんふらわあ	327	(2,936)	4.5	(7.9)	△ 2,609	△ 88.9	14	(62)	1,649	(10,125)
4 (4) → 車	303	(2,220)	4.2	(6.0)	△ 1,917	△ 86.4	41	(145)	2,151	(7,345)
5 (5) → JR (新幹線含む)	86	(942)	1.2	(2.5)	△ 856	△ 90.9	3	(79)	668	(4,022)
6 (6) → 船	33	(623)	0.5	(1.7)	△ 590	△ 94.7	1	(19)	627	(3,672)
- - - 不明	210	(722)	2.9	(1.9)	△ 512	△ 70.9	7	(36)	1,318	(2,736)
- - - その他	0	(9,019)	0.0	(24.3)	△ 9,019	皆減	0	(943)	0	(40,183)

※「その他」は「南部九州総体 2019」によるもの

交通手段別構成比 (実人数)



(5) 種目別内訳

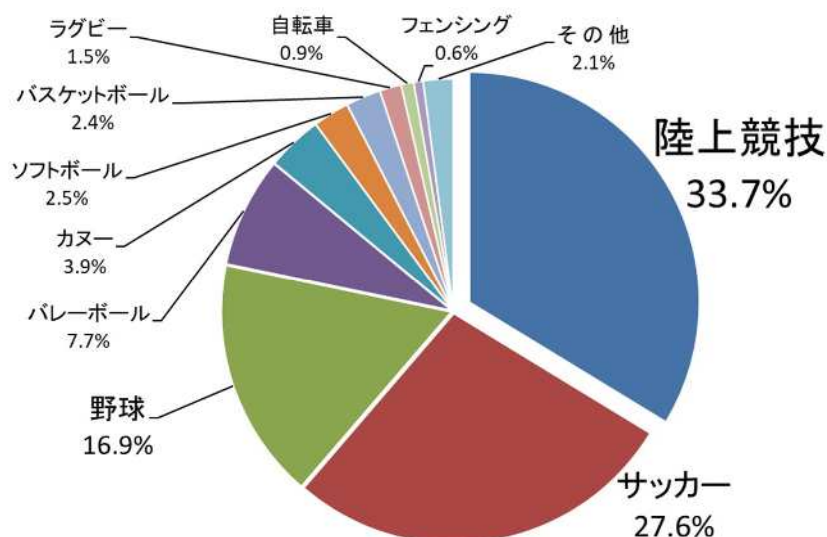
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全ての競技種目において大幅に減少。
- 延べ人数と団体数は「陸上競技」が、実人数は「サッカー」が最多。
- 上位は、「陸上競技」、「サッカー」、「野球」が占め、延べ人数で見ると78.2%と、昨年度よりその傾向が高まっている。
- 「陸上競技」は、奄美地域や、平成31年に供用が開始された「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」での堅実な受入もあり、減少率は最小に抑えられた。
- 90%を超える減少となった種目は、令和元年度に開催された「南部九州総体2019」の本県開催6種目のうち、カヌーを除く5種目（1ページ「※」参照）が主なものであり、大会前に事前合宿が実施されたことによって、実績が増加したこともあり、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、減少要因となっている。

競技種目別内訳

(単位：人、%、団体)

順位 種目 (昨年)	延べ人数 A				対前年度		実人数 B		平均滞在日数 A÷B		団体数 C		平均人数 B÷C	
	(昨年)		構成比 (昨年)		増減	増減率	(昨年)		(昨年)		(昨年)		(昨年)	
	延べ人数	構成比	増減	増減率			実人数	平均滞在日数	団体数	平均人数				
計	45,945	(160,572)	100.0	(100.0)	△ 114,627	△ 71.4	7,257	(37,047)	6.3	(4.3)	383	(2,168)	18.9	(17.1)
1 (2) 陸上競技	15,486	(21,593)	33.7	(13.4)	△ 6,107	△ 28.3	1,468	(2,793)	10.5	(7.7)	134	(191)	11.0	(14.6)
2 (1) サッカー	12,683	(23,089)	27.6	(14.4)	△ 10,406	△ 45.1	2,643	(6,117)	4.8	(3.8)	86	(254)	30.7	(24.1)
3 (3) 野球	7,782	(19,998)	16.9	(12.5)	△ 12,216	△ 61.1	1,077	(3,013)	7.2	(6.6)	37	(84)	29.1	(35.9)
4 (5) バレーボール	3,554	(10,139)	7.7	(6.3)	△ 6,585	△ 64.9	857	(3,155)	4.1	(3.2)	34	(146)	25.2	(21.6)
5 (12) カヌー	1,795	(4,297)	3.9	(2.7)	△ 2,502	△ 58.2	180	(668)	10.0	(6.4)	33	(94)	5.5	(7.1)
6 (14) ソフトボール	1,167	(2,812)	2.5	(1.8)	△ 1,645	△ 58.5	255	(645)	4.6	(4.4)	12	(21)	21.3	(30.7)
7 (4) バasketボール	1,122	(19,908)	2.4	(12.4)	△ 18,786	△ 94.4	388	(5,102)	2.9	(3.9)	17	(201)	22.8	(25.4)
8 (9) ラグビー	690	(6,071)	1.5	(3.8)	△ 5,381	△ 88.6	90	(1,179)	7.7	(5.1)	2	(30)	45.0	(39.3)
9 (18) 自転車	408	(1,150)	0.9	(0.7)	△ 742	△ 64.5	42	(230)	9.7	(5.0)	8	(43)	5.3	(5.3)
10 (11) フェンシング	296	(4,395)	0.6	(2.7)	△ 4,099	△ 93.3	54	(955)	5.5	(4.6)	3	(133)	18.0	(7.2)
その他	962	(47,120)	2.1	(29.3)	△ 46,158	△ 98.0	203	(13,190)	4.7	(3.6)	17	(971)	11.9	(13.6)

競技種目別構成比（延べ人数）



(6) 月別内訳

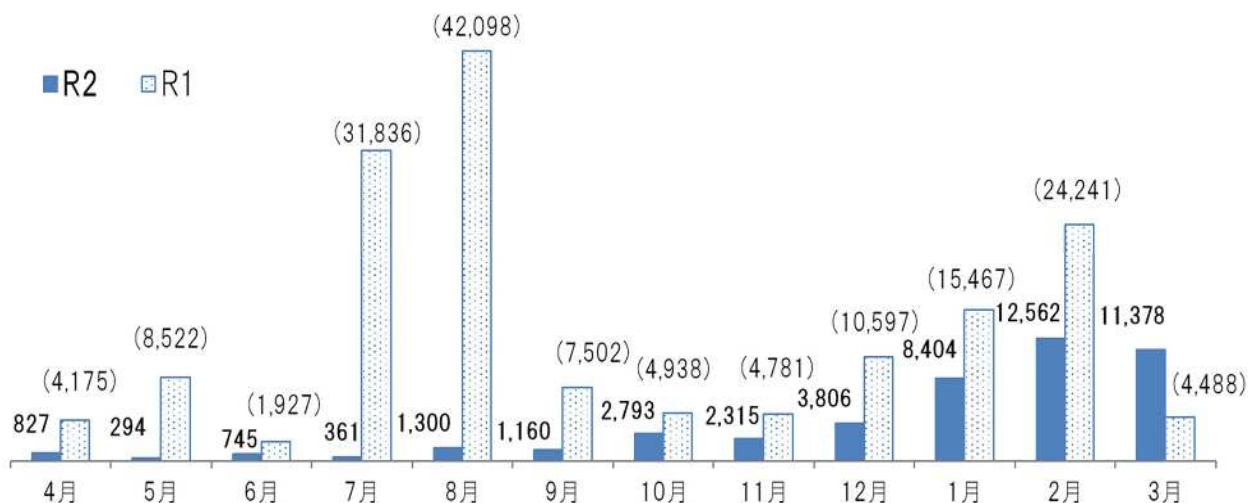
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「3月」以外の月において大幅に減少。
- 延べ人数は「2月」が、実人数と団体数は「3月」が最多。
- 上位は、「2月」、「3月」、「1月」が占め、延べ人数で見ると70.4%。
- 「7月」と「8月」は、令和元年度に「南部九州総体2019」が開催され、本県での実施競技を中心に、大会前の事前合宿が行われたことによって実績が増加したこともあり、減少率大きい。

月別内訳

(単位：人、%、団体)

	延べ人数 A				実人数 B				団体数 C					
	(昨年)		構成比 (昨年)		対前年度		(昨年)		平均滞在日数 A÷B (昨年)		(昨年)		平均人数 B÷C (昨年)	
					増減	増減率								
計	45,945	(160,572)	100.0	(100.0)	△ 114,627	△ 71.4	7,257	(37,047)	6.3	(4.3)	383	(2,168)	18.9	(17.1)
4月	827	(4,175)	1.8	(2.6)	△ 3,348	△ 80.2	34	(1,357)	24.3	(3.1)	7	(61)	4.9	(22.2)
5月	294	(8,522)	0.6	(5.3)	△ 8,228	△ 96.6	10	(3,386)	29.4	(2.5)	4	(82)	2.5	(41.3)
6月	745	(1,927)	1.6	(1.2)	△ 1,182	△ 61.3	62	(554)	12.0	(3.5)	6	(30)	10.3	(18.5)
7月	361	(31,836)	0.8	(19.8)	△ 31,475	△ 98.9	103	(7,431)	3.5	(4.3)	7	(547)	14.7	(13.6)
8月	1,300	(42,098)	2.8	(26.2)	△ 40,798	△ 96.9	326	(10,994)	4.0	(3.8)	16	(750)	20.4	(14.7)
9月	1,160	(7,502)	2.5	(4.7)	△ 6,342	△ 84.5	338	(2,649)	3.4	(2.8)	16	(143)	21.1	(18.5)
10月	2,793	(4,938)	6.1	(3.1)	△ 2,145	△ 43.4	743	(1,117)	3.8	(4.4)	35	(53)	21.2	(21.1)
11月	2,315	(4,781)	5.0	(3.0)	△ 2,466	△ 51.6	499	(968)	4.6	(4.9)	32	(57)	15.6	(17.0)
12月	3,806	(10,597)	8.3	(6.6)	△ 6,791	△ 64.1	533	(2,627)	7.1	(4.0)	37	(143)	14.4	(18.4)
1月	8,404	(15,467)	18.3	(9.6)	△ 7,063	△ 45.7	886	(1,996)	9.5	(7.7)	59	(126)	15.0	(15.8)
2月	12,562	(24,241)	27.3	(15.1)	△ 11,679	△ 48.2	1,060	(3,287)	11.9	(7.4)	57	(140)	18.6	(23.5)
3月	11,378	(4,488)	24.8	(2.8)	6,890	153.5	2,663	(681)	4.3	(6.6)	107	(36)	24.9	(18.9)

月別延べ人数



2 県内の実施状況

(1) 地域別内訳

ア 総括

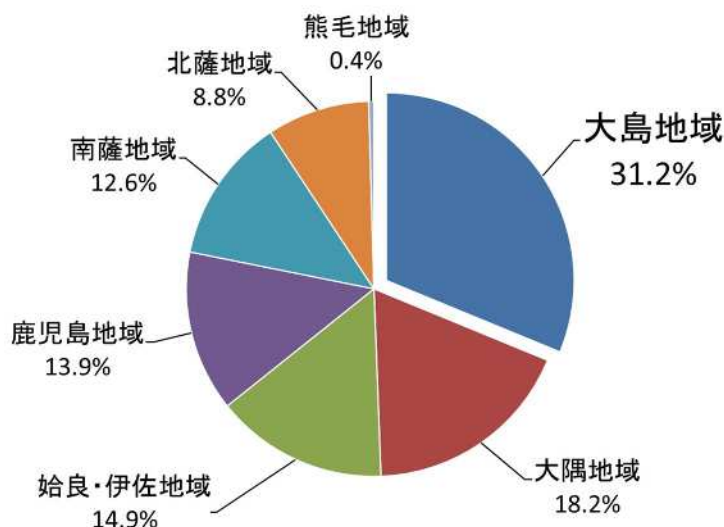
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県内全地域で大幅に減少。
- 延べ人数と団体数は「大島地域」が、実人数は「大隅地域」が最多。
- 上位は、「大島地域」、「大隅地域」、「始良・伊佐地域」が占め、延べ人数で見ると64.3%。
- 「鹿児島地域」、「北薩地域」「始良・伊佐地域」は、令和元年度に開催された「南九州高校総体 2019」の競技会場となり、大会前の事前合宿が行われたことによって実績が増加したことも、減少要因となっている。
- 大島地域は、84.3%を占める「陸上競技」の減少率が種目全体で見ても低かったこと、そして、88.6%を占める「社会人（実業団）」が継続して来訪しているケースが多く、これらのチームが合宿を中止するケースが少なかったことから、他地域と比較して減少率が低い。

地域別内訳

(単位：人、%、団体)

順位 (延べ人数) (昨年)	延べ人数 A					実人数 B			団体数 C		平均人数 B÷C (昨年)
	延べ人数 (昨年)	構成比 (昨年)	対前年度		実人数 (昨年)	平均滞在日数 A÷B (昨年)	団体数 (昨年)				
			増減	増減率							
計	45,945 (160,572)	100.0 (100.0)	△ 114,627	△ 71.4	7,257 (37,047)	6.3 (4.3)	383 (2,168)	18.9 (17.1)			
1 (4) ↗ 大島地域	14,342 (19,615)	31.2 (12.2)	△ 5,273	△ 26.9	1,124 (1,798)	12.8 (10.9)	105 (135)	10.7 (13.3)			
2 (2) → 大隅地域	8,356 (38,687)	18.2 (24.1)	△ 30,331	△ 78.4	2,074 (11,077)	4.0 (3.5)	102 (486)	20.3 (22.8)			
3 (6) ↗ 始良・伊佐地域	6,831 (14,245)	14.9 (8.9)	△ 7,414	△ 52.0	938 (3,030)	7.3 (4.7)	52 (264)	18.0 (11.5)			
4 (1) ↘ 鹿児島地域	6,378 (47,114)	13.9 (29.3)	△ 40,736	△ 86.5	1,011 (11,410)	6.3 (4.1)	34 (937)	29.7 (12.2)			
5 (5) → 南薩地域	5,772 (15,245)	12.6 (9.5)	△ 9,473	△ 62.1	1,190 (4,157)	4.9 (3.7)	48 (131)	24.8 (31.7)			
6 (3) ↘ 北薩地域	4,064 (24,437)	8.8 (15.2)	△ 20,373	△ 83.4	898 (5,320)	4.5 (4.6)	38 (203)	23.6 (26.2)			
7 (7) → 熊毛地域	202 (1,229)	0.4 (0.8)	△ 1,027	△ 83.6	22 (255)	9.2 (4.8)	4 (12)	5.5 (21.3)			

地域別構成比（延べ人数）



(参考) 団体別・種目別・発地別・市町村別延べ人数TOP3

(単位:人、団体)

項目 地域		団体別			種目別			発地別			市町村別		
		団体	延べ人数	団体数	種目	延べ人数	団体数	発地	延べ人数	団体数	市町村	延べ人数	団体数
鹿児島地域	1位	プロ	3,154	4	サッカー	3,180	9	長野	1,564	1	鹿児島市	4,762	8
	2位	社会人	1,822	5	野球	1,585	10	静岡	1,320	2	日置市	1,616	26
	3位	高校	768	15	ラグビー	690	2	東京	690	2	—	—	—
南薩地域	1位	プロ	2,082	4	サッカー	4,544	32	千葉	810	1	指宿市	2,977	25
	2位	高校	1,781	20	陸上競技	760	10	岩手	698	1	南さつま市	2,795	23
	3位	その他	1,234	18	ソフトボール	258	3	広島	608	2	—	—	—
北薩地域	1位	高校	2,064	25	バレーボール	2,259	23	福岡	1,063	8	薩摩川内市	2,274	19
	2位	プロ	1,054	5	野球	660	3	兵庫	692	3	さつま町	1,194	16
	3位	社会人	361	4	サッカー	459	2	山口	352	3	出水市	330	1
始良・伊佐地域	1位	大学	2,376	6	野球	2,343	5	福岡	3,102	8	霧島市	3,890	13
	2位	社会人	1,937	32	カヌー	1,795	33	東京	754	5	伊佐市	1,795	33
	3位	プロ	1,309	6	サッカー	1,309	6	愛媛	571	11	始良市	1,146	6
大隅地域	1位	大学	2,369	26	サッカー	3,191	37	福岡	1,998	26	鹿屋市	3,193	49
	2位	その他	2,355	24	陸上競技	1,982	19	東京	1,245	9	志布志市	2,300	24
	3位	高校	1,649	26	野球	999	12	滋賀	912	4	大崎町	2,032	20
熊毛地域	1位	社会人	145	3	陸上競技	145	3	神奈川	108	1	中種子町	202	4
	2位	プロ	57	1	ゴルフ	57	1	兵庫	57	1	—	—	—
	3位	—	—	—	—	—	—	北海道	37	2	—	—	—
大島地域	1位	社会人	12,705	91	陸上競技	12,089	96	東京	5,180	40	奄美市	8,641	69
	2位	大学	1,090	9	野球	2,043	6	愛知	1,254	5	天城町	4,962	33
	3位	プロ	547	5	トライアスロン	102	1	千葉	1,089	12	徳之島町	739	3

※ 団体別の「その他」とは、「中学生以下の団体」、「実業団以外の社会人等の団体」

(2) 市町村別内訳

ア 総括

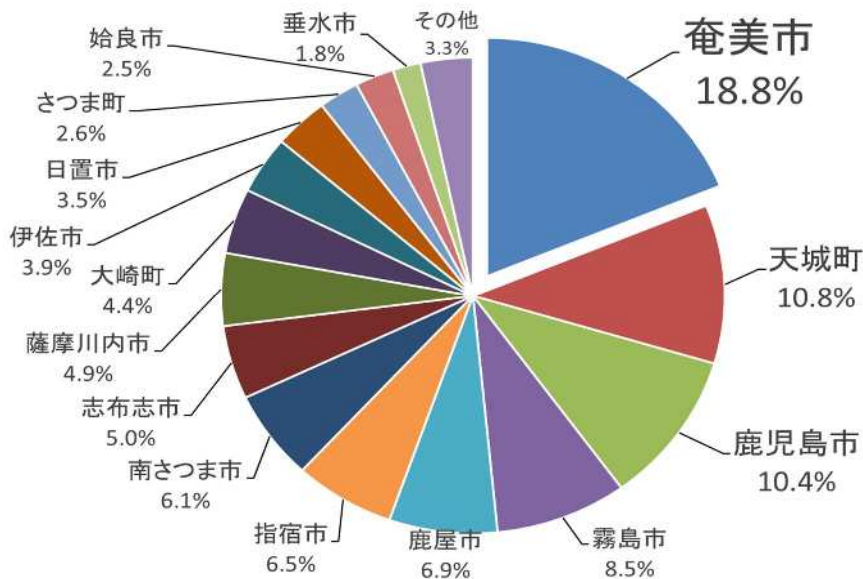
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、始良市を除く市町で大幅に減少。
- 延べ人数と団体数は「奄美市」が、実人数は「鹿屋市」が最多。
- 上位は、「奄美市」、「天城町」、「鹿児島市」が占め、延べ人数で見ると40%。
- 「鹿児島市」と「霧島市」は、サッカーJリーグのチームによるキャンプが多く行われることから、他自治体と比べ平均滞在日数が長い。

市町村別延べ人数

(単位：人、%)

順位 (昨年)	市町村名 (昨年)	延べ人数 A				対前年度		実人数 B		平均滞在日数 A÷B (昨年)	団体数 C		平均人数 B÷C (昨年)		
		A		構成比		増減	増減率	B			C				
		(昨年)	(昨年)	(昨年)	(昨年)			(昨年)	(昨年)	(昨年)	(昨年)	(昨年)			
	計	45,945	(160,572)	100.0	100.0	△ 114,627	△ 71.4	7,257	(37,047)	6.3	(4.3)	383	(2,168)	18.9	(17.1)
1	(4) 奄美市	8,641	(10,144)	18.8	(6.3)	△ 1,503	△ 14.8	730	(948)	11.8	(10.7)	69	(78)	10.6	(12.2)
2	(10) 天城町	4,962	(6,645)	10.8	(4.1)	△ 1,683	△ 25.3	357	(498)	13.9	(13.3)	33	(43)	10.8	(11.6)
3	(1) 鹿児島市	4,762	(38,798)	10.4	(24.2)	△ 34,036	△ 87.7	381	(8,715)	12.5	(4.5)	8	(796)	47.6	(10.9)
4	(6) 霧島市	3,890	(9,962)	8.5	(6.2)	△ 6,072	△ 61.0	576	(2,285)	6.8	(4.4)	13	(179)	44.3	(12.8)
5	(2) 鹿屋市	3,193	(20,357)	6.9	(12.7)	△ 17,164	△ 84.3	833	(6,120)	3.8	(3.3)	49	(333)	17.0	(18.4)
6	(11) 指宿市	2,977	(4,046)	6.5	(2.5)	△ 1,069	△ 26.4	625	(518)	4.8	(7.8)	25	(21)	25.0	(24.7)
7	(9) 南さつま市	2,795	(7,571)	6.1	(4.7)	△ 4,776	△ 63.1	565	(1,925)	4.9	(3.9)	23	(107)	24.6	(18.0)
8	(5) 志布志市	2,300	(9,978)	5.0	(6.2)	△ 7,678	△ 76.9	671	(2,934)	3.4	(3.4)	24	(67)	28.0	(43.8)
9	(3) 薩摩川内市	2,274	(10,551)	4.9	(6.6)	△ 8,277	△ 78.4	425	(2,074)	5.4	(5.1)	19	(76)	22.4	(27.3)
10	(12) 大崎町	2,032	(4,034)	4.4	(2.5)	△ 2,002	△ 49.6	348	(732)	5.8	(5.5)	20	(41)	17.4	(17.9)
11	(16) 伊佐市	1,795	(3,057)	3.9	(1.9)	△ 1,262	△ 41.3	180	(429)	10.0	(7.1)	33	(69)	5.5	(6.2)
12	(8) 日置市	1,616	(7,635)	3.5	(4.8)	△ 6,019	△ 78.8	630	(2,530)	2.6	(3.0)	26	(136)	24.2	(18.6)
13	(7) さつま町	1,194	(8,761)	2.6	(5.5)	△ 7,567	△ 86.4	357	(2,342)	3.3	(3.7)	16	(97)	22.3	(24.1)
14	(19) 始良市	1,146	(931)	2.5	(0.6)	215	23.1	182	(227)	6.3	(4.1)	6	(10)	30.3	(22.7)
15	(15) 垂水市	831	(3,190)	1.8	(2.0)	△ 2,359	△ 73.9	222	(920)	3.7	(3.5)	9	(36)	24.7	(25.6)
	その他	1,537	(14,912)	3.3	(9.3)	△ 13,375	△ 89.7	175	(3,850)	8.8	(3.9)	10	(79)	17.5	(48.7)

市町村別構成比



イ 詳細

- 県外からのスポーツキャンプ・合宿が実施された県内の市町村数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度より11減の19市町村。

市町村別の状況（直近3カ年）

（単位：人、団体）

番号	年 度 市町村名	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		延べ人数	実人数	団体数	延べ人数	実人数	団体数	延べ人数	実人数	団体数
1	鹿児島市	16,789	3,283	87	38,798	8,715	796	4,762	381	8
2	日置市	12,916	3,280	138	7,635	2,530	136	1,616	630	26
3	いちき串木野市	523	156	7	681	165	5			
4	三島村									
5	十島村									
6	枕崎市	155	45	2	3,404	1,690	2			
7	指宿市	5,748	813	28	4,046	518	21	2,977	625	25
8	南さつま市	10,507	2,425	128	7,571	1,925	107	2,795	565	23
9	南九州市	1,296	654	35	224	24	1			
10	阿久根市	2,913	320	3	3,231	481	11	266	83	2
11	出水市	1,670	453	22	1,824	388	18	330	33	1
12	薩摩川内市	12,117	2,001	60	10,551	2,074	76	2,274	425	19
13	さつま町	8,506	2,466	84	8,761	2,342	97	1,194	357	16
14	長島町	180	60	2	70	35	1			
15	霧島市	8,995	2,468	64	9,962	2,285	179	3,890	576	13
16	伊佐市	1,270	203	20	3,057	429	69	1,795	180	33
17	始良市	1,350	210	3	931	227	10	1,146	182	6
18	湧水町				295	89	6			
19	鹿屋市	24,198	6,816	325	20,357	6,120	333	3,193	833	49
20	垂水市	3,053	950	42	3,190	920	36	831	222	9
21	曾於市									
22	志布志市	10,740	2,673	65	9,978	2,934	67	2,300	671	24
23	大崎町	1,329	195	14	4,034	732	41	2,032	348	20
24	東串良町									
25	錦江町									
26	南大隅町	547	164	4	213	75	3			
27	肝付町	3,193	983	23	915	296	6			
28	西之表市	333	39	1	169	30	1			
29	中種子町	1,565	332	12	760	175	10	202	22	4
30	南種子町				300	50	1			
31	屋久島町									
32	奄美市	13,534	1,468	82	10,144	948	78	8,641	730	69
33	大和村									
34	宇検村	721	163	9	130	26	1			
35	瀬戸内町									
36	龍郷町									
37	喜界町									
38	徳之島町	1,890	231	11	2,136	206	10	739	37	3
39	天城町	6,267	562	36	6,645	498	43	4,962	357	33
40	伊仙町									
41	和泊町									
42	知名町									
43	与論町	231	33	1	560	120	3			
計		152,536	33,446	1,308	160,572	37,047	2,168	45,945	7,257	383
実市町村数		28市町村			30市町村			19市町村		
平均日数（日）		4.6日			4.3日			6.3日		
平均人数（人）		25.57人			17.09人			18.95人		

※ 太字・網掛けの市町村（21市町村）は、合宿助成制度のある市町村（詳細は14～19ページを参照）

[資料1] 春季プロキャンプの実施状況

- 2021年春季キャンプを実施したチームは、サッカー女子日本代表チームを含めて、前年度と同じ(2増2減)11団体。

2019年J3リーグで3位だった「藤枝MYFC」(1/22~)を皮切りに、3月31日までの期間に、11チームがキャンプを実施。延べ人数、実人数は前年より増加した。

また、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外チームの春季プロキャンプは実施されなかった。

春季プロキャンプの状況

	R3年春季	R2年春季	対前年度		備 考
			増減数	増減率	
延 べ 人 数 (人)	6,409	5,698	711	12.5%	
実 人 数 (人)	544	533	11	2.1%	
団 体 数 (団体)	11	11	0	0.0%	

発地別内訳

(単位: 人, %)

順位 (延べ人数)	延べ人数 A		構成比		対前年度		実人数 B		平均滞在日数 A÷B		団体数 C		平均人数 B÷C	
	(昨年)		(昨年)		増減	増減率	(昨年)		(昨年)		(昨年)		(昨年)	
計	6,409	(5,698)	100.0	(100.0)	711	12.5	544	(533)	11.8	(10.7)	11	(11)	49.5	(48.5)
関 東 甲 信 越	2,906	(1,464)	45.3	(25.7)	1,442	98.5	161	(108)	18.0	(13.6)	3	(2)	53.7	(54.0)
東 海 ・ 北 陸	1,548	(1,222)	24.2	(21.4)	326	26.7	140	(137)	11.1	(8.9)	3	(3)	46.7	(45.7)
中 国	828	(561)	12.9	(9.8)	267	47.6	102	(51)	8.1	(11.0)	2	(1)	51.0	(51.0)
北 海 道 ・ 東 北	795	(1,739)	12.4	(30.5)	△ 944	△ 54.3	93	(143)	8.5	(12.2)	2	(3)	46.5	(47.7)
九 州 ・ 沖 縄	332	(454)	5.2	(8.0)	△ 122	△ 26.9	48	(51)	6.9	(8.9)	1	(1)	48.0	(51.0)
海 外	0	(258)	0.0	(4.5)	△ 258	△ 100.0	0	(43)	-	(6.0)	0	(1)	-	(43.0)
近 畿	0	(0)	0.0	(0.0)	0	-	0	(0)	-	-	0	(0)	-	-
四 国	0	(0)	0.0	(0.0)	0	-	0	(0)	-	-	0	(0)	-	-

[資料2] 各市町村の取組状況【活動内容及び助成制度等】

地域	市町村	活動内容(令和3年予定)	活動組織	事務局
鹿児島	鹿児島市	—	—	スポーツ課
	日置市	■九州管内の中学校・高校・団体等を対象とした各競技の合宿・大会等の誘致活動(9月・11月・2月)	日置市施設利用促進協会	日置市吹上支所地域振興課
南薩	指宿市	■福岡地区かごしまスポーツ合宿セミナーに併せたサッカー等の合宿誘致(福岡のJチームや大学, 旅行代理店等: 時期未定) ■サッカー等の合宿誘致(熊本のJチームや大学, 旅行代理店等: 時期未定) ■いぶすきフットボールパーク, 宿泊施設を視察してもらうために, Jリーグ合宿担当者を誘致(オンライン会議等: 時期未定)	スポーツコミッションいぶすき	国体・スポーツコンベンション推進室
	南さつま市	■合宿セミナー参加に併せて合宿に特化したエージェント訪問(福岡: 6月(未定), 大阪: 10月(未定)) ■野球合宿誘致活動(韓国: 7月(未定))	南さつま市スポーツ観光推進協議会	観光交流課
	枕崎市	■福岡地区スポーツ合宿セミナー 学生及び社会人に対する合宿誘致(福岡県: 時期未定)	—	スポーツ・文化振興課
北薩	阿久根市	■合宿等誘致推進(岐阜県関市, 福岡県北九州市: 11月) ■学校訪問(中部学院大(岐阜県関市): 2月, 九州国際大学(福岡県北九州市): 3月)	—	スポーツ推進課
	出水市	■スポーツ合宿セミナー(福岡市: 9月) ■スポーツ合宿等誘致活動九州北部・中国地方, 関東地区(11月, 1月)	—	商工振興課

助成制度		
名称(実績)	対象	内容
合宿・大会誘致推進事業 (1団体, 82千円)	県外にある大学の運動系及び文化系の団体	県外にある大学の学生の団体が本市内で実施する合宿・スポーツ大会に対し助成を行う。
日置市施設利用促進協会合宿 歓迎式開催規定 (2団体, 15千円)	(1) 学生及び社会人(一般企業)の競技団体 (2) 本協会の会員である宿泊施設を連続して、6日以上利用する団体 (3) 日置市及び日置市観光協会の歓迎式開催基準に該当しない団体	次のいずれかの歓迎品を贈呈 (原則1団体1万円未満) (1) スポーツドリンク (2) 市内の特産品
日置市合宿等誘致推進事業費 補助金(商工観光課) (54団体, 3,448千円)	学校に就学する者で構成する団体	(1) 5人以上で合宿等を行うもの (2) 1回の合宿等につき、宿泊者数に1,000円を乗じた額 ※上限20,000円
指宿市スポーツ・芸術文化合宿 奨励金等支給事業 (29団体, 2,351千円)	2泊以上かつ連続する延べ宿泊数で30泊以上市内の宿泊所を利用する市外の団体又は個人	延べ宿泊者数に1,000円を乗じて得た額で上限20万円。
南さつま市スポーツ観光推進協議会合宿等誘致促進奨励金 (29団体, 1,416千円)	市内の施設で大会や練習を行い、かつ市内宿泊施設を利用する運動系の団体	2連泊以上、延べ宿泊数20人泊以上の団体に、一般1泊1,000円、高校生以下700円を助成(上限20万円)
枕崎市スポーツ合宿等誘致推進奨励金交付要綱	市外の中学校、高等学校、大学、高等専門学校及び専修学校の生徒又は学生で構成される運動系及び文化系の団体並びに社会人のスポーツ競技部	スポーツキャンプ・合宿等に係る補助金及び交通費補助
阿久根市合宿等誘致推進補助金 (4団体, 367千円)	市外に所属する高等学校以上の学生で構成される団体	連続で2日以上、かつ延べ宿泊日数が30日以上であり市が指定する市内の宿泊所に宿泊すること。宿泊費の延べ宿泊数×1千円 1人につき一泊上限1千円、限度額200千円
スポーツ合宿誘致推進補助金 (10団体, 736千円)	スポーツ施設を利用し、出水市内に20泊以上宿泊の団体	1泊につき1,000円の助成 ※限度額20万円

地域	市町村	活動内容(令和3年予定)	活動組織	事務局
北薩	薩摩川内市	■合宿誘致(福岡県:12月・山口県:2月・東京都:2月) 主に、前年合宿いただいた団体を中心に誘致活動を行う予定。	薩摩川内スポーツコミッション	商工観光部 スポーツ課
	さつま町	■九州スポーツ合宿セミナー(福岡県:コロナが落ち着き次第) ■関西スポーツ合宿セミナー(大阪府:コロナが落ち着き次第) ■宿泊実績のある九州圏内の高校に挨拶回り(コロナが落ち着き次第)	コンベンションタウンさつま推進協議会	商工観光PR課
	長島町	合宿誘致セミナー参加(福岡地区:9月)	—	社会教育課
始良・伊佐	霧島市	■誘致活動によりキャンプを実施しているプロ・実業団チームを訪問し、引き続きキャンプ地として選んでいただけるよう誘致活動を行う。(随時)	霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会	商工観光部 観光PR課
大隅	鹿屋市	■県主催スポーツ合宿セミナー(福岡県, 大阪府:時期未定) ■スポーツ合宿誘致活動(東京:時期未定) ■スポーツ合宿パンフレットの配布 ■SNSによる情報発信	かのやスポーツコミッション	市民スポーツ課
	垂水市	■県主催の合宿セミナーに合わせて誘致活動を実施	垂水市スポーツ団体等誘致実行委員会	水産商工観光課
	志布志市	■旅行会社訪問(福岡:9月, 大阪・京都:2月)	志布志市スポーツ団体誘致推進協会	港湾商工課シティセールス室
	大崎町	—	—	企画調整課
	錦江町	—	—	観光交流課
	南大隅町	■合宿セミナー参加, 誘致に係るAGT訪問(大阪, 株式会社リトルコンシェル:時期未定)	—	商工観光課
	肝付町	■県主催合宿セミナーへの参加(福岡, 大阪:時期未定)	—	産業創出課

助成制度		
名称(実績)	対象	内容
スポーツ合宿報奨金 (10団体, 677千円)	延べ50人泊以上	延べ泊数 × 1,000円(上限20万円)
—	—	—
—	—	—
合宿助成金 (2団体, 40千円)	霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会の誘致活動を通じて合宿を受け入れた学生団体。	延べ宿泊数20泊以上(2連泊以上)の団体に対して2万円の補助。
スポーツ合宿等誘致推進奨励金 (5団体, 587千円)	県外の高校・大学で構成する運動・文化等の団体	延べ宿泊数 × 1,000円の助成とバス借上助成 ※条件有, 上限20万円
—	—	—
志布志市スポーツ合宿等誘致奨励金 (7団体, 702千円)	学生団体(運動系及び文化系)	・高校生以下1日500円, 大学生1日1,000円の助成 ・交通費加算1人あたり1,000円(九州内団体)
大崎町スポーツ合宿等奨励金 (28団体, 1,454千円)	学生・社会人の団体	泊数に応じて段階的に奨励金を支給。 バス・レンタカー等の追加支給もあり
錦江町合宿誘致補助金 (0団体, 0千円)	本町の宿泊施設を合宿目的で利用する団体	宿泊数 × 1,000円 × 日数の金額(上限20万円)
南大隅町文化・スポーツ合宿誘致補助金 (0団体, 0千円)	高校生・大学生	宿泊施設・交通費・体験活動補助
合宿等誘致推進補助金 (0団体, 0千円)	学校教育法に規定する高校及び大学の学生で構成される運動系及び文化系の団体	宿泊日数が連続2日間以上で延べ20泊以上、若しくは宿泊日数が1日間の場合は人数が30人以上

地域	市町村	活動内容(令和3年予定)	活動組織	事務局
熊毛	西之表市	—	西之表市スポーツ合宿等誘致推進協議会	教育委員会社会教育課
	中種子町	■全日本実業団駅伝チーム合宿誘致活動(宮城県仙台市:11月)	中種子町スポーツ合宿等誘致推進協議会	社会教育課
大島	奄美市	■各種大会にて関係者への誘致活動 ・全日本実業団陸上競技選手権大会(大阪府:9月) ・都市対抗野球大会(東京都:11月) ・全日本実業団女子駅伝競走大会(宮城県:11月) ・全日本実業団駅伝競走大会(群馬県:1月)	奄美スポーツアイランド協会	スポーツ推進課
	宇検村	—	—	企画観光課
	喜界町	—	—	教育委員会事務局
	徳之島町	■愛工大名電高校, 上武大学, TDKの野球合宿誘致, エージェント(RIGHTS.)訪問(愛知県, 群馬県, 秋田県, 東京都:10月~1月) ■学校法人日本体育大学との協定における事業の調整(11月)	徳之島スポーツアイランド推進協会	社会教育課
	天城町	■各種大会において, 視察及び合宿誘致活動 ・全日本実業団対抗陸上競技選手権大会(大阪府:5月頃) ・都市対抗野球大会(東京都:11月頃)	—	商工水産観光課

助成制度		
名称(実績)	対象	内容
西之表市スポーツ合宿等誘致推進事業補助金 (0団体, 0千円)	島外の社会人, 学生	市内の体育施設を利用した2人以上の合宿者の団体が, 連続2泊以上した場合, その延べ宿泊者数に応じて助成する。 ・公共の宿泊施設 1人当たり500円 ・民間の宿泊施設 1人当たり2,000円
スポーツ合宿等誘致推進協議会補助金 (5団体, 442千円)	スポーツ合宿団体	合宿団体への補助
学生スポーツ・ゼミ合宿誘致助成事業 (6団体, 876千円)	学生スポーツ合宿向けの助成金制度	参加宿泊者数の延べ人泊数に応じた助成
宇検村合宿等誘致補助金交付要綱 (3団体, 438千円)	本村で宿泊を伴う合宿(一定の要件あり)	宿泊費の一部助成(上限30万円)
令和3年度宇検村体育協会事業補助金(合宿補助費) (2団体, 198千円)	島外の高校及び大学生	貸切バスの提供
喜界町スポーツ合宿誘致事業 (1団体, 265千円)	県内の学生	合宿経費の3分の2補助 上限30万円
徳之島スポーツアイランド推進協会合宿助成金 (3団体, 365千円)	大島群島外からの中学生以上の団体	徳之島町内宿泊所の宿泊者延べ人数20人を超える場合に1人1泊当たり1,000円の助成(上限20万円)
—	—	—